

表面からの続き

Q 個人の旅行コースを、ガイド誌やネットを見て自分で作るのではなく、生成AIに作ってもらう人が急増している。ネット検索対策として、また生成AIに寒河江を選んでもらいやすくするため、今後観光スポット、飲食店、宿泊施設、イベント等の情報を、体系立ててしっかり整理・整備すべきではないか。

A 本市でも観光情報の発信をしていますが、生成AIに選ばれる観光情報の質と量としては、まだ不十分な状況であると考えてます。

本市の観光情報が生成AIに選ばれ、旅行者の興味や関心に従った旅行プランとして提供されるためには、生成AIで選ばれやすいテキストデータやハッシュタグを活用したSNS発信など、Web上におけるデジタルデータの充実が必要であり、今後、本市に関する観光情報の発信のあり方について、観光関係者とともに研究・検討してまいりたいと考えています。



【令和7年12月定例会一般質問 その2】

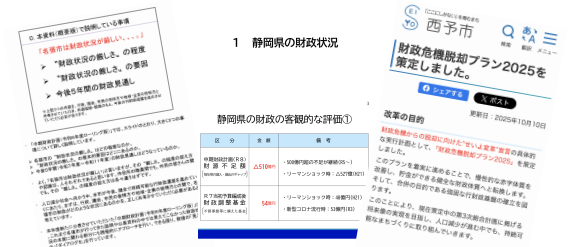
寒河江市の持続可能な財政運営について

私が報道や自治体発表を確認した範囲でも、10月だけで10前後の自治体が「財政危機」を公表した。

人口減少による税収減、少子高齢化による社会保障費の増加、老朽化施設の維持管理費の増大や新施設の建設費、それに輪をかけて近年の材料や人件費の高騰など、自治体財政はこれまで以上に厳しい状況が続いている。

寒河江市では、これから統合中学校や統合病院等をはじめとした大規模なハード整備事業が続く。

将来にわたって安定した行政サービスが提供できるよう、今からその体制づくりが必要だ。



▲全国で続発する財政危機
(財政危機宣言をした自治体のWEBサイトより)

Q 市の予算編成方針は毎年度ゼロベースが基本とのことだが、次年度、事業を継続するか否かの判断基準は。

A まず振興計画にかかる市民アンケートです。

施策の項目毎に取り組んでいる事業の現状評価と今後の重要度を評価、市民満足度のギャップなどを求めて次年度の予算編成に活用しています。

次に市職員自らが前年度の事業を分析し、次年度の改善・改革を検討するサマー・オーダーレビューです。

経営的視点を意識し、事業の縮小や廃止した場合の影響



や削減効果額を調査・検討するとともに、従来の仕事のやり方を見直す機会として取り組んでいます。

来年度に向け一部イベントの休廃止や業務の見直しなど22事業について取り組み、効果額は決して大きくありませんが、絞り込みを行い、予算編成に反映するよう作業を進めています。

Q 持続可能な財政運営には、削減だけでなく投資も不可欠だ。市民や市内企業から今以上にしっかり利益を上げていただき、その結果として税収が増えることは、市民や企業の幸福にも直結する。市内産業に対する戦略的投資を、どう考えているか。

A 基幹産業である農業や製造業、観光を中心とした商業・サービス業は、地域経済と雇用を支える極めて重要な柱であり、これらが持続的に発展していくためには、現状の課題に的確に対応しつつ、積極的に投資していく視点を欠いてはならないと考えます(以下要約)。

★農業分野★課題:担い手不足、生産性向上。対策:スマート農業導入支援、高付加価値化推進、若い世代の兼業就農支援など。

★製造業・工業分野★課題:AI等省力化技術、カーボンニュートラル対応。対策:設備投資・人材育成支援、企業誘致推進など。

★観光・商業分野★対策:インバウンド受け入れ環境整備、体験型観光強化、中心市街地にぎわい創出、民間事業者との連携など。

★横断的取り組み★スタートアップ支援、デジタル化、地域企業の新事業展開や研究開発などを後押しすることで、新たな雇用創出。

Q 公共施設の集約や持続可能な財政運営は、市長・職員・議会・市民が同じ目線で現状や課題を共有できないと進められない。「財政白書」のような、わかりやすい資料を作成・配布してはどうか。

A これまでも財政状況の情報提供を図ってまいりましたが、専門用語や仕組みが分かりにくいとの声があることも承知しています。

より多くの皆様に本市の財政課題や財政状況をご理解いただける資料作りに努めてまいります。



▲市民向けのわかりやすい財政資料

「ごとう健一郎後援会」に入会して頂ける方・紹介して頂ける方を募集しております。

ご入会頂いた方には、定期的に後援会だよりをお届けさせていただきます。会費は一切ございません。また、市政に対するご質問やご意見、ご要望などもぜひお聞かせ下さい。